

❀ 中高一貫部だより ❀

発行；中高一貫教育推進部 平成 29 年 3 月 17 日

中高一貫教育推進部では、学校案内のリーフレットの作成や会津大学・会津大学短期大学部との連携事業、SSH 産業社会・総合的な学習の時間の中高接続などを行っています。前回の中高一貫部だよりでは、スポット講義の中から高等学校で実施した内容について報告しました。今回は、中学校で実施したスポット講義について報告します。

連携先	会津大学		会津大学短期大学部
教科等	①数 学	②英 語	③食 育
日 時	11月18日(金) 第6校時	3月15日(水) 第4校時	12月1日(木) 第7校時
対 象	中学3年生全員	中学生徒全員	中学1学年全員
場 所	大講義室	大講義室	大講義室



スポット講義を通して、普段の授業や日常生活では学べないことや体験することができないことに触れることができました。生徒のみなさんの感想の多くは、「新たな発見があった」「今後に活かしたい」というもので、有意義な時間になったことがうかがえます。来年度もみなさんの興味・関心が高まるようなスポット講義を中高で実施したいと思います。

◆ ① 日常生活に役立つ数学 私たちはなんのために数学を学ぶ必要があるのか ◆

講師： 会津大学 准教授 寺園 淳也 先生

前半では、日常生活の中での数学の実用性について実例を交えながら説明してくださいました。後半では、数学嫌いな人々へのメッセージとして、好きにならなくてもよいから使えるようになれば、将来の生活の質が向上し選択の幅が広がることを、自身の失敗例も交えながらわかりやすく説明してください、学校の授業で扱う内容とは少し違った数学の側面を垣間見ることのできる講義となりました。



《生徒の感想》

- 金利や期待値の話は少々難しかったが、数学を学んでいけばそういうものの仕組みが分かり、損をしない、などということが分かった。現代社会は数学なしでは成り立たないくらいだと思った。数学を使える人になりたい。また、数学が得意になるための方法のコーナーではとても有益なものばかりだった。とても有意義な時間だった。
- 文系でも論理的に考えるようにするために数学が大切であるということが勉強になった。日常で使う数学は、今自分たちが学んでいることが一番大切だということが分かった。今まで苦手だと言って逃げていたが、もう逃げ道が無いと思った。数学を嫌いな理由が1つは分かったが、もう1つがとてもおもしろかった。今回の講義で勉強は全てつながっていると感じた。
- 私自身、数学が苦手でも嫌いでも「将来使わないだろう」と思っていたが、使う場面が思っていた以上にたくさんあり驚いた。これからは少し視点を変えて数学に触れようと思う。
- 数学が嫌いな私でも、今日の講義はとても楽しく聞くことができた。それは寺園先生の話がおもしろかったり、講義の内容に興味を持つことができたからだ。将来、論理的な考えを持つためにも、今、数学を頑張りたい。そのためにも、苦手な所を見つけ、そこを繰り返し練習する・テストで見直しする・テスト後やり直しすることを忘れずにしたい。数学を使う！！

◆ ② 国際化する日本と英語の重要性 ◆

講師： 会津大学 准教授 安田 尚子 先生

国際化していく日本において、今後さらに英語力が必要になってくることを、海外の事例を交えながらわかりやすく説明していただきました。特に韓国の教育事情には、多くの生徒が衝撃を受けていました。また、今取り組めることとして、「学習目標を立てる」「基礎力」「実践力」についての話があり、普段の学習の大切さを改めて感じることもできました。世界的な視野で英語の重要性を考える良い機会となりました。



《生徒の感想》

- 今回の講義を通して、英語学習の大切さがわかった。私にとっての英語は、授業があるから学ぶというだけだったが、今後の生活にとって英語は必要不可欠になっていくことを認識することができ、とても勉強になった。今後は、自分なりの目標を見つけ英語を学んでいきたい。
- 今学習している英語の重要性がよくわかった。基礎が大切だという話を聞いたので、これからは復習をメインにマイトレをもっと頑張りたい。
- 普段私たちが学んでいる学習内容ははるかに上回っているのが韓国だった。クラスや学年という狭い空間ではなく、世界の人たちが将来的なライバルということを知られた。自分自身英語は得意ではないので、目標を常に掲げ、勉強に取り組んでいきたいと思う。
- 翻訳機が発達してきている中で、実際に話す英語の大切さを改めて理解することができた。まだまだ機械にはできないことがたくさんあることが分かった。
- 今回の講義で、英語の勉強に対する気持ちや内容、質を高めていかなければならないと強く感じた。特に、英語を勉強するときに、受験以外の目標を立てると良いと聞いて、そのとおりだと思った。英語を勉強するのは、将来のためだ。今まで以上に英語に力を注いでいきたい。

◆ ③ フードモデルと IC タグを用いた新しいツールで食事バランスを学ぼう ◆

講師： 会津大学短期大学部 講師 加藤 亮 先生

フードモデルやICタグ等を使い、食品に関する知識として、栄養バランスや無駄のない食生活等について考えました。前半の講話では、栄養素の働きや、食生活と健康との関わりについて、わかりやすく説明していただきました。後半は、生徒達がICタグを内蔵した実物大フードモデルを使って、自分の食の特徴や、理想的な食事バランスにする組み合わせ方について体験的に学びました。

《生徒の感想》

- 今回の講義で自分の食生活について見直すことができた。今家庭科でも習っている栄養素や栄養学について、楽しみながら知ることができた。生活の中で、私が思っていたよりも、食事のバランスは私たちにとって大切なものなのだと感じた。自分の食事を振り返ってみると、野菜不足だと感じたので、今後は気をつけようと思う。今回学んだことを、今後の生活に生かしていきたい。
- 以前から食に関しては興味があった。今回の講義でさらに食に関して興味がわいた。栄養素が足りないと自分の身体に関わってくるので、バランスの良い食事をしよう気をつけていきたい。
- SAT というシステムでもとても楽しく学ぶことができた。この講義で、食生活が悪いと、病気にかかりやすくなったり、記憶力が落ちたり、背が伸びなくなったりすることがわかった。

